

富山大学 基金

University of Toyama
Foundation

富山大学へのご寄附のお願い

日頃より富山大学の教育・研究・社会貢献にご理解をいただき、また、格別のご支援賜りまして深く感謝申し上げます。

本学は、平成17年(2005年)に旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が再編・統合し、2025年には統合20周年を迎えます。現在9学部(人文・教育(旧人間発達科学)・経済・理・工・医・薬・芸術文化・都市デザイン)及び附属病院や和漢医薬学総合研究所など複数の教育・研究組織に約9,300名の学生と約2,400名の教職員が在籍し、多様な分野での教育・研究・社会貢献活動に活躍しています。

現代は、少子高齢化、グローバル化、気候変動など激しい変化に直面しています。このような状況下で、課題を解決し新たな価値を創造するためには、異なる分野の知識や知見を統合する「総合知」が求められます。なお「総合知」を活用する土台となる「データサイエンス」「アクティブラーニング」「英語教育」の3つが重要で、本学の教育で特に力を入れています。また、研究においては本学が強み・特色とし、地域産業に貢献する5つの分野(「カーボンニュートラル」「ヘルスケア・創薬」「軽金属」「データサイエンス」「文化財保存」)を重点的に育成しています。

一方、国立大学をめぐる経営環境は、運営費交付金の削減、光熱費の急騰、施設整備費の値上がり、IT整備の充実、雇用賃金引上げ等の要因で大変厳しい状況にあります。これまで、皆様方のご寄附により、学生の海外研修補助、新型コロナウイルス感染時の経済的支援、能登半島地震時の災害支援等、本学での修学支援のため富山大学基金をありがたく活用させていただきました。富山大学のさらなる飛躍のために、今後とも「富山大学基金」を初め、特定基金(修学支援、研究等支援、課外活動支援、経済学部、工学部、医学部及び芸術文化学部基金)や附属病院等への募金へのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



富山大学長

齋藤 滋

寄附先の種別

詳細は右記QRコードよりご確認ください。



大学全体を支援したい

一般寄附



用途を限定せず、大学の活動を広く支援する基金です。
継続事業として、在学生の留学支援事業や、成績優秀者への表彰を行っております。

特定の部局を支援したい

医学部基金



教育施設の整備等、医学部の教育・研究に支援を行います

工学部基金



創造工学センターをはじめとした、工学部の教育・研究に支援を行います

経済学部基金



経済学部の教育・研究に支援を行います

附属病院支援基金



高度な医療を提供するための教育・研究・施設整備等を行う基金です

芸術文化学部基金



芸術文化学部の教育・研究に支援を行います

学生を支援したい

修学支援基金



被災した学生等、経済的理由により修学が困難な学生に支援を行います

課外活動支援基金



学生の人間形成の場の一つである課外活動の支援を行います

研究を支援したい

研究等支援基金



学生又は不安定な雇用状態にある研究者の研究活動等に対し、支援を行います

特定の教員や学部・学科・講座等を支援したい

寄附金制度(学術研究・産学連携本部)

教育研究の奨励を目的とする寄附金を受け入れる制度です

その他

リサイクル募金(きしゃぽん)

期間限定企画

(クラウドファンディング、Giving Campaign等)

附属病院支援基金や寄附金制度(学術研究・産学連携本部)についての詳細は、裏表紙のQRコードよりご確認ください。



一般寄附は、用途を限定しない寄附であり、本学が行う学生修学・教育研究等に係る各種事業の一層の充実を図ります。

継続されている事業内容として、国際交流事業の推進や、成績優秀者への表彰を行っております。

国際交流事業

国際交流事業として、毎年様々なプログラムで学生の留学支援を行ったり、職員の海外派遣を支援したりしております。

● 支援事業に参加した学生の声

体験記：学部1年次対象短期海外英語研修

留学先：オークランド大学（ニュージーランド）

この度は、富山大学基金の短期海外派遣プログラム支援事業（2024年3月実施）に参加させていただき、ありがとうございました。私は1ヶ月間のニュージーランド研修に参加しました。授業では、基本的な英語表現を学んだり、英語でディスカッションやロールプレイングゲームを行ったりして、実践的に英語を学ぶことができました。授業外の自由時間には、色々な観光地に行ったり、美味しいものを食べたりして、非常に充実した刺激的な毎日を過ごすことができました。ホームステイ先でも、ホストファミリーが温かく私を迎え入れてくださり、会話やボードゲームを通して楽しく日常会話を学ぶことができました。この1ヶ月間に経験したことは一生忘れないと思います。

この研修を通して、外国人と英語で話すことへの抵抗が少なくなり、英語学習への意欲も高まったので、今後も英語学習や会話を積極的にいき、より成長できるように精進していきたいと思っています。



私の一番お気に入りの海
[タカプナビーチ]



プログラム修了後に全員（先生と富大生）で
大学横のアルバートパークにて撮影

留学先：トウンクアブドゥルラーマン大学（マレーシア）

前年度の学部1年次対象短期海外語学研修に関して、ご支援頂きありがとうございました。私たちの学年は高校3年間をコロナ禍で過ごし、海外に渡航する機会をなかなか得られなかったため、今回のご支援は初めて海外へ行く大きな後押しになりました。

マレーシアでは英語のみならず、様々な文化や価値観に触れることが出来ました。今回の研修を通して、日本とマレーシアには、文化や価値観の面で違いもありますが、似通った部分も多くあることに気がつくしました。

私は、このような経験を大学1年生のうちにできた事に大きな意味を感じています。海外と日本は、私が予想していた以上に心理的な距離が近いと実感でき、今後の進路選択の幅も広がりました。今回の経験を糧にして、今後も語学学習を継続していきたいです。



お世話になった先生と
帰国前日に記念撮影



街中での夕食の風景

学生表彰事業

各学部・大学院生の成績優秀者を表彰する事業です。優秀な学生に表彰盾と記念品を授与しています。



課外活動支援事業

本学の課外活動施設は老朽化が進んでおり、施設によっては激しい老朽化が原因で学生たちが活動中に怪我をしてしまう恐れがありました。

令和5年度には、五福キャンパスのテニスコートの修繕をはじめとした様々な支援を行いました。





本学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、以下の6つの事業により必要な支援を行います。

- 授業料、入学料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- 学資金を貸与又は給付する事業
- 教育研究上の必要があると認めた学生の留学に係る費用を負担する事業
- 学生の資質向上を主たる目的として、学生を教育研究に係る業務に従事させ、手当を支給する事業
- 外国人留学生と日本人学生が共同生活を営む寄宿舎の寄宿料の減額を目的として、当該寄宿舎の整備を行う場合における施設整備費又は民間賃貸住宅等を借り上げて当該寄宿舎として運営を行う場合における賃料の一部を負担する事業
- 個々の学生等の障害の状態に応じた合理的な配慮を提供するために必要な事業であって、障害のある学生等に対する事業

活用事例

①新型コロナウイルスへの対応(令和2年度)

新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けて、アルバイトの減少等、家計が急変した学生1,397名に対し、本学独自に奨学金(一時見舞金)を総額69,850,000円支給しました。

②能登半島地震の被害を受けた学生への対応(令和6年度)

富山大学 学生に対する災害対応支援金給付事業

令和6年1月1日に発生した、能登半島地震や、9月21日～23日に発生した能登半島豪雨による学生や学資負担者が被災した学生に対し、緊急的に経済的な支援を必要とする対象者に支援金の給付を行いました。

また、富山大学学生に対する災害対応支援金給付事業実施要項を制定(R6.3.8)し、災害対策基本法第2条第1号に規定する「災害」(暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事等)にも支援を行います。

皆様からお寄せいただいた温かいご支援に心から御礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支援内容 (令和6年1月～9月末 申請・支援者)	学部生・院生
家屋が全壊した者 10万円	6名
家屋が半壊した者 8万円 (大規模半壊及び中規模半壊を含む。)	30名
家屋が一部損壊(準半壊を含む。)した者 5万円	87名
学資負担者が死亡又は行方不明となった者 10万円	—

※支援に関する手続きは、学務部学生支援課または各学部教務にご相談願います。



本学では、研究等支援基金を設置し、学生又は不安定な雇用状態にある研究者に対し、以下の3つの事業により必要な支援を行います。

- 学生又は不安定な雇用状態にある研究者が公募により選定されて参加する研究に関するプロジェクトにおいて、その学生又は不安定な雇用状態にある研究者が自立した研究者として行う研究活動に要する費用を負担する事業
- 論文の刊行に要する費用、学会等への参加に要する旅費その他の費用で研究活動の成果を発表するために必要なものを負担する事業
- 大学院に在学する学生又は不安定な雇用状態にある研究者のその専門とする分野に係る研究者としての能力及び資質の向上を主たる目的として、異分野の研究者との交流その他の他の研究者又は実務経験を有する者との交流を促進する事業

医学部基金

詳細はこちら



医学部(医学科、看護学科)の教育研究における環境の整備(シミュレーションセンター設置等)や内容の充実による高度な医療人材の養成を図ることを目的とします。

基金の目的

- 1.医学部の教育・研究環境の整備
- 2.医学部の教育・研究活動の支援
- 3.医学部50周年記念事業
- 4.その他医学部の教育研究に関する事業



シミュレーションセンターの整備について(45,000千円)

ポストコロナ時代の高度医療人材を養成することにより、医学部のミッションである「地域と世界で活躍できる医療人の養成」を目指し、どのような環境下であっても高度な医療人材を養成する目的でシミュレーションセンターの整備を行います。

詳細については、右記QRコードをご確認ください。



工学部基金

詳細はこちら



富山大学工学部の教育・研究における環境の整備や内容の充実による高度なものづくり人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

- 1.工学部の教育・研究環境の整備
- 2.工学部の教育・研究活動の支援
- 3.工学部80周年記念事業
- 4.工学部改修事業
- 5.その他工学部の教育研究に関する事業



学生プロジェクトについて

学生が自らデザイン、設計、製作したマシンで競う、毎年開催される全国競技会に挑戦する学生プロジェクト(学生フォーミュラカー、学生ロボットコンテスト等)です。

若い世代が机上の知識だけでなく、実際のものづくりを通じて実践的な能力を身につけることを目的に設立されました。

工学部基金では、学生プロジェクトへのご寄附も受け付けております。

詳細は上部のQRコードより工学部基金ウェブサイトをご確認ください。

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/kikin/>



経済学部基金

詳細はこちら



富山大学経済学部の教育・研究における環境の整備や内容の充実による高度人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

- 1.経済学部の教育・研究環境の整備
- 2.経済学部の教育・研究活動の支援
- 3.経済学部100周年記念事業
- 4.経済学部改修事業
- 5.その他経済学部の教育研究に関する事業



芸術文化学部基金

詳細はこちら



富山大学芸術文化学部の教育・研究における環境の整備や内容の充実による高度人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

- 1.芸術文化学部の教育・研究環境の整備
- 2.芸術文化学部の教育・研究活動の支援
- 3.学部学生、及び大学院学生への支援
- 4.芸術文化学部改修事業
- 5.その他芸術文化学部の教育研究に関する事業



課外活動支援基金

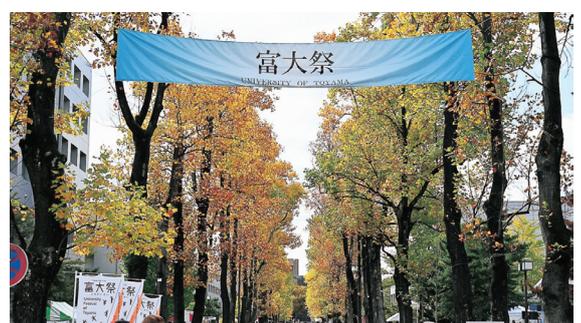
詳細はこちら



課外活動支援基金へのご寄附は、課外活動全般への用途の他、公認の課外活動団体が使用する物品購入や大会旅費の補助、課外活動施設の修繕等に活用いたします。

※なお、特定の団体や目的の寄附については、ウェブサイトをご確認ください。

また、特定の団体を指定せず、課外活動全般の用途でご寄附をお受けすることも可能です。



寄附者特典

詳細はこちら



ご寄附いただいた金額により、様々な形での謝意をご用意しています。

みなさまには、今後とも富山大学基金の趣旨にご賛同いただき、引き続き温かいご支援のほどお願いいたします。

一般寄附、修学支援基金、研究等支援基金の寄附者特典

富山大学基金ウェブサイトや銘板に、寄附者様のご芳名を掲載します。

富山大学基金への寄附額が一定金額以上となった場合には、感謝の意を表して寄附額に応じて下記グッズを贈呈いたします。

●富山大学オリジナル扇子

富山大学の教員が原画・デザイン制作を行い、伝統的な京扇子の技を受け継ぐ職人が1本1本丁寧に作ったオリジナルの扇子です。共にアクリル・スライド蓋付桐箱に入れてお届けします。



「連峰の輝き」(寄附の合計額が10万円以上)
原画制作
前富山大学芸術文化学部教授 高島圭史(日本画家)



「百花繚乱」(寄附の合計額が5万円以上)
デザイン制作
富山大学理事・副学長 武山良三(デザイナー)

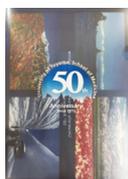
謝意品は寄付額に応じて選べます。詳細は富山大学基金ウェブサイトをご確認ください。

その他特定基金の寄附特典

特定基金でも、独自の返礼品をご用意しております。詳細については、各特定基金のWEBページにてご確認ください。

医学部基金

返礼品 ●ご寄附いただいた皆様に、医学部設置50周年記念クリアファイル
芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
一定金額以上の方には、銘板に刻印して未永く顕彰させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者(個人で50万円以上、団体で100万円以上)には、富山大学
医学部長名での感謝状を贈呈いたします。
シミュレーションセンター利用券 ●10万円毎に進呈いたします。



クリアファイル



感謝状(盾)



経済学部基金

芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
一定金額以上の方には、銘板に刻印して未永く
顕彰させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者(個人で50万円以上、団体で100万円
以上)には、富山大学経済学部長名での感謝状(盾)
を贈呈いたします。



感謝状(盾)

芸術文化学部基金

芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者(個人で50万円以上、団体で100万円以上)には、富山大学
芸術文化部長名での感謝状を贈呈いたします。

工学部基金

芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
一定金額以上の方には、銘板に刻印して未永く顕彰させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者(個人で50万円以上、団体で100万円以上)には、富山大学
工学部長名での感謝状と返礼品(水時計)を贈呈いたします。



水時計「夢時計」



課外活動支援基金

感謝状 ●高額寄附者(個人で50万円以上、団体で100万円以上)には、感謝状を贈呈
いたします。

高額寄附者様への謝意(一般・特定基金共通)

累計額500万円以上(個人は100万円以上)の高額なご寄附をいただいた方
学長から感謝状を贈呈し、富山大学基金ウェブサイトに掲載します。(掲載しないことも選択できます。)

●紺綬褒章

紺綬褒章は、公益のために公的機関や公益法人に私財(個人は、500万円以上、団体は、1,000万円以上)を寄附した方に授与されます。

富山大学では、寄附者の意向を確認のうえ、文部科学省に申請することとしています。

富山大学基金振込用紙「銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）用」

富山大学基金への寄附についてご案内

〓 〓 〓 ご記入に際して 〓 〓 〓

- ◆ 申込書を兼ねておりますので、必ずこの用紙をご使用になり、郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行等金融機関の窓口にお出しください。銀行ATMはご利用できません。
- ◆ 北陸銀行及び富山第一銀行の各支店間は振込手数料は無料です。また、郵便局（ゆうちょ銀行）の払込料金は富山大学が負担いたします。その他の金融機関からお振込みいただく場合は、振込手数料が発生しますので、振込金額欄には、寄附金額から振込手数料を差し引いた金額を記入いただき、振込手数料と合わせてお振込みの手続きをお願いします。この場合、振込手数料を含めた金額を寄附金としてお取扱いいたします。
- ◆ お振込みの際、郵便局（ゆうちょ銀行）の場合は、左側の2つ（郵便局用）、銀行の場合は3つすべてにご記入ください。
- ◆ 振替払込請求書兼受領証は、払込みの証拠となりますので大切に保管してください。富山大学発行の寄附金受領証明書（所得税等の寄附金控除証明書）は後日お送りいたします。
- ◆ 払込取扱票は、「国立大学法人富山大学個人情報保護基本方針および同規則」に則り適正に管理・保管を行います。

◇ 通信欄並びに振込先の該当事項 にチェック 及びご記入をお願いします。

郵便局用

払込取扱票（振込通知書）

02 金 沢	口座記号番号												千	百	十	万	千	百	十	円
	0	0	7	3	0	2	4	0	4	3	2									
加 入 者 名	国立大学法人富山大学 富山大学基金												備 考							
振込先	※ <input type="checkbox"/> 北陸銀行 五福支店 <input type="checkbox"/> 富山第一銀行 五福支店												【至急】 依頼人→仕向銀行 →被仕向銀行 →受取人							
寄附者名 (おなまえ)	フリガナ												〒							
ご 依 頼 人	〒												都・道・府・県							
TEL	() -												ご芳名等の富山大学ホームページ等への掲載について							
E-mail	() ()												<input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない							
通 信 欄	<input type="checkbox"/> 一般寄附 <input type="checkbox"/> 修学支援基金 <input type="checkbox"/> 研究等支援基金												日 附 印							
	<input type="checkbox"/> 課外活動支援基金 (団体名:)																			
	<input type="checkbox"/> 学部基金 (学部名:)																			
	<input type="checkbox"/> 法人・団体 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 役員・教職員 <input type="checkbox"/> 一般																			
	<input type="checkbox"/> 在学生・卒業生・修了生 (学部等名:)																			
	<input type="checkbox"/> 在学生・卒業生・修了生の家族 (学部等名:)																			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号金第3615号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

<input type="checkbox"/> 座 記 号 番 号	0	0	7	3	0	2	通 常 払 込 料 金 加 入 者 負 担							
加 入 者 名	国立大学法人富山大学 富山大学基金						千	百	十	万	千	百	十	円
金 額	4	0	4	3	2									
振 込 先	※ <input type="checkbox"/> 北陸銀行 五福支店 <input type="checkbox"/> 富山第一銀行 五福支店						おなまえ							
ご 依 頼 人	様													
料 金	日 附 印													
備 考														

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

《お問い合わせ先》

◇ 一般寄附・修学支援基金・研究等支援基金に関して

富山大学総務部総務課広報・基金室
電話 076-445-6178 FAX 076-445-6063
E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp

◇ 課外活動支援基金に関して

富山大学学務部学生支援課 課外活動支援基金担当
電話 076-445-6088 FAX 076-445-6092
E-mail: tgakusei@u-toyama.ac.jp

◇ 医学部基金に関して

富山大学杉谷地区事務部総務課 医学部基金担当
電話 076-434-7007 FAX 076-434-1463
E-mail: kitiuga@adm.u-toyama.ac.jp

◇ 工学部基金に関して

富山大学五福高岡地区事務部 理工系総務課 工学部基金担当
電話 076-445-6691 FAX 076-445-6697
E-mail: kousoumu@adm.u-toyama.ac.jp

◇ 経済学部基金に関して

富山大学五福高岡地区事務部 人社系総務課 経済学部基金担当
電話 076-445-6402 FAX 076-445-6413
E-mail: ecosoumu@adm.u-toyama.ac.jp

◇ 芸術文化学部基金に関して

富山大学五福高岡地区事務部 芸術系総務・学務課 基金担当
電話 0766-25-9133 FAX 0766-25-9126
E-mail: t-kikin@adm.u-toyama.ac.jp

電 信 扱

振 込 依 頼 書

(銀行保存用)

※ 依頼日	年	月	日											
受 取 人	国立大学法人富山大学 富山大学基金													
金 額	千	百	十	万	千	百	十	円						
振 込 先	□ 北陸銀行 五福支店 (普) 6008935 □ 富山第一銀行 五福支店 (普) 237082													
ご 依 頼 人	※フリガナ ※氏 名 ※住 所 都・道・府・県 市・区 町・村 ※電話番号													
<input checked="" type="checkbox"/> 払込取扱票は、至急、各行取りまとめ支店に直送してください。 依頼人 → 仕向銀行														
銀 行 領 取 印														

切り取らないで窓口にお出しください。

銀行用

- (ご注意)
- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 - ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 - ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 - ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 - ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから、大切に保管してください。

収入印紙

5万円以上

貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

税制上の優遇措置

富山大学基金への寄附金については、税制上の優遇措置が受けられます。

●個人からのご寄附に対する措置

寄附金額が2千円を超える場合、その超えた金額が当該年の所得から控除されます。ただし、寄附金の額が総所得額の40%を上回る場合は、40%が限度となります。

$$\text{所得税の軽減額} = \left(\text{寄附金額} - 2,000 \text{円} \right) \times \text{所得税の税率}$$

寄附された翌年の1月1日に富山県内にお住まいの方は、県民税及び市町村民税の寄附金税額控除を受けることができます。2千円を超え総所得額の30%までの寄附金額に対し、県民税は4%、市町村民税6%を乗じた額が控除されます。

$$\text{県民税} = \left(\text{寄附金額} - 2,000 \text{円} \right) \times 4\%$$

$$\text{市町村民税} = \left(\text{寄附金額} - 2,000 \text{円} \right) \times 6\%$$

●法人等からのご寄附に対する措置

寄附金の全額を損金算入することができます。
詳しくはQRコードを読み込んでください。



修学支援基金または研究等支援基金へ寄附された個人の方には、所得税法上の優遇措置があります。税額控除または所得控除のどちらか有利な方式を確定申告時に選択することができます。詳しくはQRコードを読み込んでください。



富山大学へのご寄附の方法

①富山大学基金

本冊子付属の振込用紙またはインターネットよりお申込み頂けます。
詳細は、以下に記載のページよりご確認ください。

●一般寄附、修学支援基金、研究等支援基金

<https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/howto/index.html>

●課外活動支援基金

[https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/extra-activities/
extra-activities_kikin/method/](https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/extra-activities/extra-activities_kikin/method/)

●医学部基金

<http://www.med.u-toyama.ac.jp/kikin/method.html>

●工学部基金

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/kikin/#method>
※学生プロジェクトへ寄附される際は、振込時にその旨記載ください。

●経済学部基金

<https://www.eco.u-toyama.ac.jp/kikin/index.html>

●芸術文化学部基金

<https://www.tad.u-toyama.ac.jp/fund>



※QR読み取り後に希望する基金のURLを選択してください。

②学術研究・産学連携本部の寄附金制度について

教育研究の奨励を目的とする寄附金を受入れ、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度です。詳細は以下URLまたは右記QRよりご確認ください。
<https://sanren.ctg.u-toyama.ac.jp/donation/>



③富山大学附属病院支援基金について

感染症対策や安全性の高い医療を行うための教育と施設整備をはじめ、新しい先進的な医療機器の整備、医療従事者の教育や研究に役立てられます。
詳細は以下URLまたは右記QRよりご確認ください。
<https://www.hosp.u-toyama.ac.jp/special/kikin/>



本パンフレットに関するご感想等ございましたら、
以下URLや右記のQRよりアンケートにご協力頂けますと幸いです。
<https://forms.office.com/r/BDtQ3BGEd2>



【お問い合わせ】

富山大学広報・基金室

〒930-8555 富山県富山市五福3190
Tel : 076-445-6178 E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp
URL : <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp>

